

令和6年度 宇都宮短期大学附属中学校入学試験について

[出題範囲]

教科	出 題 範 囲
国語 (第1回・ 第2回共通)	<u>大問3題</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句に関する問題 (漢字の読み書きは、6年生までに学習したものより出題) ・ 説明文または論説文 ・ 小説 } 各1題 出題
算数 (第1回・ 第2回共通)	第1回 6年生の教科書の「拡大図と縮図」, 「場合の数」を除くすべての範囲。 第2回 6年生の教科書の「場合の数」を除くすべての範囲。 <u>大問4題</u> 大問の2問は独立形式の小問群からなり, 残りの2問は数量関係, 図形などから出題する。
適性検査 (第1回・ 第2回共通)	<u>大問3題</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全教科の融合問題であるが, 特に理科・社会分野に比重を置き, 県立中学校と同系統の問題を出題する。 ・ 日本語のリスニング問題
作文 (第1回のみ)	<u>40分600字以内</u> 与えられた課題や資料などを読み, 自分の考えや意見をまとめ, 論理的な文章として表現する。(詳細は別紙)
社会 (第1回のみ)	<u>大問5題程度</u> 地理的分野, 歴史的な分野全範囲。政治分野の時事的な問題も含む。
理科 (第1回のみ)	<u>大問5題程度</u> 6年生までの内容 (ただし, 「てこのはたらき」, 「発電と電気の利用」を除く。)

[受験勉強のポイント]

教科	受験勉強のポイント
国語 (第1回・ 第2回共通)	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きは、基本的なものを出題。小学校で学習した漢字は確実にていねいに書けるよう日ごろから練習をする習慣をつけてほしい。 長文読解問題は、論理的文章、文学的文章とも文章量がやや多いので、決められた時間内にまとまった量の文章が読みこなせるよう日ごろから読書に親しんでほしい。字数制限や句読点を含む、含まない等の条件に合った解答が作成できるよう、過去間で練習しておきたい。
算数 (第1回・ 第2回共通)	<ul style="list-style-type: none"> 計算、数、数量関係、図形、グラフ、面積、体積、速さ、割合、規則性など、幅広い分野からまんべんなく出題する。 基本的な問題から応用問題まで、幅広く出題し、教科書よりも高いレベルの応用問題も含まれる。 計算力を試し、かつ、文章読解力、思考力を問う問題も出題するので、数的な思考力を試すものであることを、意識して勉強してほしい。
適性検査 (第1回・ 第2回共通)	<ul style="list-style-type: none"> 単なる知識を問うような問題ではなく、設問の図や表を正しく理解・分析し、与えられた設問に対する自分の考えを文章で分かりやすくまとめる表現力が必要となる。有効な勉強方法は、家族の間で積極的なコミュニケーションをとること。例えば、食事の後片付けをしながら食器を洗った水が川に及ぼす影響について話したり、テレビで災害のニュースを目にしたら、被害を少なくするために普段からできることをいっしょに考えてみるのもよい。
作文 (第1回のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちをただ述べるのではなく、理由や根拠を客観的に示した論理的文章を書く練習をしてほしい。 与えられた課題を的確にとらえ、自分の意見を深められるように、ふだんの生活において考える習慣をつけておきたい。
社会 (第1回のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 教科書中心の学習。(くり返し読んで、重要事項を中心にノートにまとめてほしい。) 地理分野 地図帳なども利用し、地図記号や、世界や日本の主な地形も学習しておこう。 歴史分野 年表形式の出題も考えられるので、歴史の流れをしっかりとつかんでおいてほしい。時代ごとの年表を作るのも有効である。 政治分野の時事的な分野も出題予定なので、新聞にも目を通してほしい。
理科 (第1回のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の実験の方法・結果・まとめをしっかりと理解してほしい。 表・グラフを使った問題になれておく。 問題文をよく読み、実験の条件や結果が図や表に書いてないときには書き込む習慣をつけよう。

